

"ぼうさい探検隊"とは

小学生を対象に、グループごとに自分たちが住んでいるまちを探検してもらい「どんな場所が危ないか」「消火栓や防火水槽、防災備蓄倉庫がどんな場所に設置されているか」などを実際に見て回り、探検の結果を防災マップにまとめて、ふり返るといふ実践的な防災教育プログラムです。

キーワードは「防災とは言わない防災」。子どもたち自身が、楽しみながらまちを探検していくことを通して、知らず知らずのうちに、まちが好きになり、まちの安心・安全への関心を高め、ひいては防災意識が芽生えることをねらいとしたプログラムです。



▲まち中を探検



▲完成したマップをみんなの前で発表

2005年度

第2回 小学生の "ぼうさい探検隊" マップコンクール 入選作品集



社団法人 日本損害保険協会

社団法人 日本損害保険協会
〒101-8335 東京都千代田区神田淡路町2-9
URL <http://www.sonpo.or.jp>

(お問い合わせ先)
生活サービス部 NPO・防災グループ
TEL 03-3255-1294 / FAX 03-3255-1236
E-mail npo@sonpo.or.jp

かけがえのない環境と安心を守るために



会員会社一覧

(2006年2月現在 50音順)

あいおい損保	損保ジャパン	日本地震
朝日火災	そんぽ24	日立キャピタル損保
共栄火災	大同火災	富士火災
ジェイアイ	東京海上日動	三井住友海上
スミセイ損保	トーア再保険	三井ダイレクト
セコム損害保険	日新火災	明治安田損保
セゾン自動車火災	ニッセイ同和損保	
ソニー損保	日本興亜損保	

ごあいさつ

昨年も台風や集中豪雨災害、福岡県西方沖地震や宮城県沖地震が発生するとともに、年末になってからは記録的な寒波による大雪で各地に多大な被害が発生しました。また、昨今児童をねらった凶悪な犯罪も各地で多発するなど地域の安全・安心が脅かされています。

こうした中、私ども日本損害保険協会では、安全で安心な地域社会を目指して防災対策をはじめ、犯罪防止対策、交通安全対策など損保の経験やノウハウを活かした様々な活動を展開しています。

「ぼうさい探検隊」もこうした活動の一つとして取り組んでいるものです。子どもたちが楽しみながらまちを探検し、地域の皆さんとの触れ合いを通じ、自らの目で防災や防犯に関連するさまざまな設備や施設を発見することで、「防災意識」と「地域への関心」を高めていく実践的な防災教育プログラムです。

私もこの「ぼうさい探検隊」に実際に参加する機会がありました。お子さんたちはとても楽しそうにまちを歩きながら、消火栓や防火水槽などの防災設備を発見したり、ご同行いただいた町内会長さんから防災設備の使い方を教えてもらったり、また、地域の消防署や交番などを訪問して仕事の内容や日々の取り組みをインタビューするなど、防災や防犯に関することを一生懸命学んでいました。

私は、この活動を体験してみて、「ぼうさい探検隊」というプログラムは、お子さんたちの防災意識の向上に寄与するばかりでなく、お子さんたちと地域の皆様との触れ合い、コミュニケーションを促進させるとともに、お子さんたちに、自分の住んでいるまちを再認識していただき、そして住んでいる地域をより好きになっていただけたのではないかと実感しました。

2回目となる今回のマップコンクールでは、全国の小学校や子ども会など219団体から782作品もの応募をいただきました。この入選作品集ではその中の9作品をご紹介しますが、入選されなかったどの作品も地域の災害特性をテーマに調べた力作ばかりでした。これらマップには、大人ではなかなか気づかない子どもの視点で、まちへの提言や感想も書かれており、安全で安心なまちにするためのヒントがたくさんつまっています。どうか、少しでも多くの地域で子どもたちの目線で作られた防災マップが活用され、安全で安心な地域社会になっていくことを心から願っています。

全国各地でぼうさい探検隊に参加し、ご協力いただいたすべての皆様、素晴らしいマップを作っていただいたお子さんたちにあらためて感謝いたします。

2006年 2月

社団法人 日本損害保険協会
会長 こ だま 児玉 ただし 正之

主 催

社団法人 日本損害保険協会／朝日新聞社／ユネスコ／
特定非営利活動法人 日本災害救援ボランティアネットワーク

後 援

内閣府／総務省消防庁／文部科学省／警察庁／
全国都道府県教育委員会連合会／アジア防災センター
社団法人 日本ユネスコ協会連盟

表彰式

2006年1月21日(土)に東京・両国のKFCホールにおいて開催された「第2回ぼうさい探検隊フォーラム」の中で第2回「小学生の“ぼうさい探検隊” マップコンクール」表彰式が行われました。



▲入賞校代表児童6人に喜びの声をインタビュー



▲ステージ上でプレゼンター、入賞の児童・指導された担当者の方々が一緒に記念撮影をしました



▲未来へのまちづくり賞を受賞した富山県余川小学校の北山華澄さん、中川真理先生 左は朝日新聞東京本社 武内健二編集局長



▲プレゼンターのみなさま



▲ステージ場では緊張していました



▼入賞されたみなさん



福井県あわら市北潟小学校の佐孝拓希さん、佐藤宏美先生へ、文部科学大臣賞が贈呈されました。

フォーラム

マップコンクール表彰式やパネルディスカッションなど3部門構成で実施。当日は、学校の先生方や防災関係者、学生など300名を超える来場者で賑わいました。



▲内閣府・武田審議官の来賓挨拶



▲第1部で行われたぼうさい探検隊活動の紹介



▲第3部パネルディスカッションの様子



▲TBSラジオの生中継の様子



▲ロビーではぼうさい探検隊のパネル展示等も行われました



▲展示された自分たちの作品の前で記念写真(上戸小学校のみなさん)

懇親会

表彰式の前日(1月20日)には宿泊ホテルの会場(第一ホテル両国)で、入賞校・団体の代表児童、保護者、指導された担当者と協会・事務局による懇親会が開かれました。



▲和やかな雰囲気です食事を楽しまました



▲チームのみなさんにも早く表彰状をみせたいです!



▲他の入賞校・団体のみなさんと同じテーブルになって親睦が図られました



▲表彰式のリハーサル 間違いなくできるかな



▲防災専門家の先生とゲーム大会 みんなで一緒になって考えました



▲他校の子どもたちの話も聞けました

本審査会

全国の小学校や子ども会など219団体から782作品もの応募がありました。厳正なる審査を重ね入選9作品を決定いたしました。

〈応募作品の傾向〉

◎カテゴリー

・マップは地震や津波をテーマにしたものが多くありました。中には、不審者が出没しそうな箇所を示す防犯マップや、交通安全マップが見受けられました。

◎学年別

・団体応募が全体の半数を占めたので、学校応募のように一学年で実施するよりも1年生～6年生まで学年をまたいで活動する傾向が多くありました。
・学校応募の場合は、中学年の3～4年生、高学年の5～6年生の応募が依然として多くありました。

◎地域性

・県別では、埼玉県がダントツの31団体でトップ、これについて千葉県が18団体、静岡県が15団体、広島県14団体、愛知県13団体と続きます。
・関東・東海エリアは今年も多数のご応募をいただきました。
・昨年は、津波・台風の被害予想地域や太平洋沿岸地域に応募が集中しましたが、今回はそれに限らず地域がかなり拡大しました。
※今回応募地域:41都道府県(前回応募地域:23都道府県)

〈本審査員〉

審査員長 **室崎 益輝** 氏 独立行政法人 消防研究所理事長
戸田 芳雄 氏 文部科学省 スポーツ・青少年局 体育官
荒木 潤一郎 氏 内閣府企画官(防災担当) 災害情報調査室長
金谷 裕弘 氏 総務省消防庁防災課長
渥美 公秀 氏 大阪大学大学院助教授
柄谷 友香 氏 京都大学大学院助手
秋山 和男 氏 文部科学省国際統括官付ユネスコ協力官
拓 一郎 氏 朝日新聞社広報宣伝本部長
吉田 浩二 氏 社団法人 日本損害保険協会常務理事
 計 9 名



審査総評

「第2回 小学生の“ぼうさい探検隊”マップコンクール」に入賞された皆さん、おめでとうございます。それに加えて、参加された800近い応募作品の皆さんにも、心からお礼を申し上げたいと思います。

第2回のコンクールでは、3つの大きな「広がり」が生まれたように思います。

1つ目は「参加者の広がり」です。昨年の倍以上の仲間がこのコンクールに応募してくれました。

2つ目は「工夫の広がり」です。それぞれの地域の危険性をあらわした地図や資料を集めてきたり、あるいは昔からの災害の歴史を調べたり、いろいろな努力と工夫で豊かな内容になったことが指摘できると思います。

3つ目は「テーマの広がり」です。地震や津波のマップだ

けではなくて、犯罪や交通の危険性についてのマップもたくさん出品されました。そういう意味で広く安全の問題を考える土台ができたように思います。

今回のコンクールは前回にも増して、非常に大きく発展をしたと、私は思っています。やはり子どもが中心にならなければ、日本の社会、都市は安全にならないということを痛感しました。ひとりでも多くの子どもたちが日本の防災の担い手になることを期待します。

審査員長

室崎 益輝



文部科学大臣賞

福井県あわら市 ^{きた がた} 北潟小学校
^{ファイブ} 北潟5 BFC (5年生 11名)



活動報告 ^{さとう ひろみ} 佐藤 宏美 先生

探検隊に参加したことで、普段の生活では学ぶことができない防災についての知識を学ぶことができ、とても有意義な体験になりました。

評価されたところ

よく調べていて情報量が多いものの、きれいに整理されてまとまっている。
 また、ぼうさい探検隊を通しての感想や提言がしっかりまとめられている。



▲消防署の方の話を真剣に聞く子どもたち



▲自分たちのまちの備えを確認中

テーマ 地震・がけくずれ・火災

工夫点

- ・文章の確認や配置がしやすいようにパソコンを使って工夫した。
- ・写真を多く取り入れ、視覚的に訴えるようにした。

提言

- ・学校では避難訓練をしているが、家庭や地域の防災対策を知っている児童は皆無。これは地区の防災に対する問題点。

子どもたちの感想

- ・活動するまで、自分たちのまちに災害の備えがしてあることは、気がつかなかった。
- ・消防署の方にいろいろ教えてもらい、はじめて「地域の防災」を知ることができた 等。

入選を聞いて



クラス全員で力を合わせて、がんばって作ったぼうさい探検隊マップが、文部科学大臣賞を受賞したと聞いて、びっくりしました。本当にうれしいです。探検して北潟の防災についていろいろなことがわかりました。問題点は、これから地域の人に知らせたいと思っています。(佐孝 拓希さん)



受賞の知らせを聞いたときは、本当に驚きました。子どもたちが、一生懸命取り組んだ成果が認められ、とてもうれしく思います。消防署の方や地域の方といっしょに行った探検やマップ作りを通して得た防災についての関心や問題意識を、これからは、いろいろな活動を通して、地域への啓発活動へと広げていきたいと思っています。(佐藤 宏美先生)



防災担当大臣賞

大阪府高槻市立 三箇牧小学校 こう水からみんなをまもり隊 (4年生 8名)



▲自分たちの発見をマップに書き込んでいきます



▲「こう水からみんなをまもり隊」のみなさん



テーマ 洪水

工夫点

- ・堤防が決壊してから水没してしまうまでの時間を色分けして表示した。
- ・素早い避難の必要性を強調した。

提言

- ・みんなが安全に避難するために日頃から「物の準備と心の準備」が必要です。
- ・各家庭で3日分の食糧の備蓄を。若い人は近所のお年寄りを助けて避難する心の準備を。

子どもたちの感想

- ・まち探検はちょっと難しかったけどおもしろかった。自分たちでも何かできると思った。

入選を聞いて



たくさんの応募の中から受賞したと聞いてびっくりしました。学年みんなで活動したことをまとめて、私達8人がマップにしました。活動してわかったことは、「みんなを守るには、まず自分の命を大事にする」ということです。今まで以上に「災害からみんなを守りたい」という気持ちになりました。(小畑 明日香さん)



「地域に住むみんなが安全に」を合言葉に活動を進めました。防災設備の調査、市への陳情活動、避難所開設依頼などの活動を通して、たくさんの方との出会いがありました。「自分達子どもでも地域のために何かできる」という実感を得た活動になりました。受賞をきっかけにより一層の防災意識の高まりを願っています。(井潤 洋子先生)



活動報告 井潤 洋子 先生

今回の学習を通して、「地域に住むみんなが安全に」が合言葉になり、地域を見る目が育ち、地域の変化に敏感に反応する子が増えました。

評価されたところ

防災無線の間こえる範囲を示しており、目に見えない「無線」に一歩踏み込んだ内容である。堤防決壊から30分以内に水没してしまう地域を色分けする等わかりやすいマップづくりを心かけている。

総務省消防庁長官賞

埼玉県川越市立 上戸小学校
上戸探検隊Aチーム (5年生 11名)



▲「上戸探検隊Aチーム」のみなさん



▲みんなで協力してマップをつくりました



テーマ 地震・洪水

工夫点

・洪水と地震の時の避難場所がすぐわかるようにまとめた。

提言

・避難訓練を自治会ごとにやってほしい。
・洪水の時と地震の時では避難場所が違うので、地域の人に教えてほしい。

子どもたちの感想

・洪水と地震ではそれぞれの避難場所が違うことを知り、勉強になった。

入選を聞いて



みんなで入賞を喜びました。地震について調べていて、洪水の時、ほくたちの学校がひなん場所ではないことを知りました。地震の時と洪水の時、上戸地区の人々のひなん場所が違うことを知らせたいと思いマップを作成しました。(大川 雄也さん)



子どもたちは地域の人が避難場所の違いを知らないことに驚いたようです。ぼうさい探検隊の地図づくりに影響をうけ、他の子どもたちも地図づくりに挑戦するようになりました。本当にありがとうございました。(小原 良成先生)



活動報告 小原 良成 先生

子どもたちは、災害によって避難場所が違うことを知らせるため、誰が見てもすぐわかる地図づくりに苦労していました。

評価されたところ

災害(地震・洪水)によって避難場所が違う点に焦点をあてた着眼点が良い。また、1つのマップでわかりやすく避難場所を並べて確認できるようにしている。

まちのぼうさいキッズ賞 (ユネスコ提供)

福島県相馬市 川原町児童センター
みつばち防災探検隊 (2・3年生 10名)



▲ 消火栓を見つけました



▲ 元気よくまち探検に出発する子どもたち

テーマ 地震

工夫点

・写真や折り紙を多く使って、だれが見てもわかりやすいようにした。

提言

・災害の状況をより早く知るために携帯電話を使った情報ネットワークづくりをしてほしい。

子どもたちの感想

・多くの方が役割分担をして災害に備えていることに驚いた。

・道路には危険な所が多いということが印象に残った。

入選を 聞いて



私たちが作ったマップが入賞したと聞いて嬉しくなりました。まちを歩いたり、市役所で質問したり大変だったけどいろいろなことがわかり良い思い出になりました。

これからもがんばります。
(山田 早也佳さん)



10年以内に東北地方に大地震がおきると言われていることから、我がまちの防災対策状況を子どもたちに知らせ、自分の身は自分で守る意識を持って欲しいとの願いからマップコンクールに参加しました。子どもたちと「入選します様に!」と願ったのが現実となり信じられない思いで一杯です。入賞した事が、相馬市内の小学校や各団体に、コンクールに参加するきっかけになって欲しいと願っております。二度とない思い出を頂き心から感謝いたします。本当にありがとうございました。(永井 清美さん)



活動報告 永井 清美さん

子どもたちが危険箇所を知ることで、携帯電話を利用したネットワークづくりが必要だと考えたことは、とても貴重な体験でした。

評価されたところ

よく調べていて情報量が多いものの、きれいに整理されてまとまっている。また、写真や折り紙を使ってわかりやすくマップが工夫されており、マップづくりの楽しさが伝わってきた。

未来へのまちづくり賞

(朝日新聞社賞)

富山県氷見市立 余川小学校 余川防災見直し隊(6年生 12名)



▲お店の人にインタビューする子どもたち



▲「余川防災見直し隊」のみなさん、駐在所で記念撮影



テーマ 火災・洪水・土砂くずれ

工夫点

・地域の全家庭を対象にアンケートをとったり、防火チェックカードも作った。

提言

・このマップと防火チェックカードを利用して日々の防火に努めてほしい。

子どもたちの感想

・自主防災会の方は、野火を消火するために30kg以上の消火用リュックを背負って山を駆け上がっていくのはすごい。

入選を聞いて



受賞を聞いてとても嬉しかったです。大変だったけど、6年生の全員が協力して一生けん命防災マップを作ってよかったです。また、私たちの作った防火チェックカードが地域の人たちに役にたつといいと思います。(北山 華澄さん)



子どもたちが話し合って活動計画を立て、進んで活動したりまとめたりしました。ぼうさい探検隊活動のほかに、地域の全家庭を回り、アンケートを取ったり自分たちで作成した防火チェックカードを配ったりしました。その努力が受賞によって報われたと感じました。(中川 真理先生)



活動報告 中川 真理先生

子どもたちは、地域の人たちの協力・連携で自分たちの安全が守られていることに気づき、自分でも地域の一員として消火に関わっていくという意識が芽生えたようです。

評価されたところ

消防団や駐在所、農協、商店など地域のいろいろな人たちにしっかりインタビューを行い、危険か所を調べたり、地域の全家庭を対象にアンケートをとってまとめている。

ぼうさい探検隊賞

(日本損害保険協会賞)

しん めい ちょう

千葉県館山市 神明町22班

防災戦隊 GO! GO!ファイブ(3・5・6年生 5名)



▲「防災戦隊GO!GO!ファイブ」のみなさん



▲防火水槽の説明を聞く子どもたち



テーマ 地震・津波

工夫点

・災害に対する行動や心構えをマップに記入した。

提言

・道が狭く、路肩を歩道にしている道路が多いので危険。
・交通量が多いのに信号がない箇所もあり危険を感じる。

子どもたちの感想

・防火水槽、消火栓、災害用井戸の仕組みがよくわかった。
・備蓄倉庫が自分たちの小学校の中にあつたことに驚いた。

入選を聞いて



5人で協力して作ったマップだったので入選したと聞いた時は、とてもうれしかったです。これからは、ぼくたちが防災について調べたことを地域で活用していきたいです。
(戸高 京佑さん)



防災意識の高まる中で、この活動に参加できた事を嬉しく思いました。身近にありながら気に留めていなかった設備や市の対策準備が整っている事を知り、安心しました。また、災害についての対策を実際に親子で話しあえた事が大きな収穫となりました。
ありがとうございました。(戸高 知子さん)



活動報告 戸高 知子さん

災害が実際に起こった場合、どうすれば良いのか不安を感じていたので、子どもたちと一緒に活動したことで自分も学習することができました。

評価されたところ

施設をいろいろ回ってインタビューしており、避難場所と海の位置関係から、危険な地域、安全な地域をわかりやすく色分けして示している。

審査員特別賞

三重県鳥羽市 安楽島子ども会 安楽島キッズ探検隊 (3・4・5年生 9名)



テーマ 地震・津波

工夫点 子どもたちが感じた安心なものを青色、心配なものは黄色、不安なものは赤色にするなど、わかりやすくマップに色分けをした。



入選を聞いて

入選するとは思ってなかったのですがうれしいです。びっくりしました。地震が起きたら、どこへ逃げたらいいかなど、探検をしてわかった事がいっぱいあるので、まちの人たちにもマップを見てもらいたいです。(浜口 弘樹さん)



育成会では、災害が起きて人も人をアテにはしていない(たとえば通学時の学校や先生)という意識がめばえつつあります。今回の入選の喜びをみんなで共有し、さらに地域の防災意識がいつそう高まるきっかけになればと思います。ありがとうございました。(浜口 敬司さん)



徳島県海南町立 浅川小学校 浅川ブルースカイチーム (5年生 3名)



テーマ 地震・津波

工夫点 学校周辺の津波避難所を中心に防波堤や防潮扉など関連する施設を調べた。



入選を聞いて

3人で協力しながら、マップをしあげることができてよかったです。防波堤や津波避難所の設備などを見て行って楽しかったです。これからもいろいろと話を聞いたり、自分で調べたりしてみたいと思います。(森口 百々香さん)



浅川では、昭和21年の南海地震による津波を体験した人が、当時の様子を語り伝えてくれています。マップ作りの中で、そのときの教訓が今も生かされていることを実感しました。今回の入選で3人も大きな自信を得ることができました。ありがとうございました。(若城 雅人先生)



日本ボーイスカウト高知県連盟 高知第13団 ボーイスカウト高知13団 (1・3・4年生 5名)



テーマ 地震・津波

工夫点 地図の上に津波が来たときの高さがわかるシートを付け、どこがより危険なのが表示した。



入選を聞いて

とてもびっくりしたけど、すごくうれしいです。自分たちの住んでいるまちを歩きまわって、今まで気付かなかったことがたくさんありました。これからは、みんなでもっとたくさんの事を話し合っ自分たちのできる事を考えていきたいです。(福田 凌雅さん)



「自分で守ろう自分の命」というと、災害救助の面からするとかけ離れた様な言葉ですが、津波や地震のことを良く知ること自分の事を守ることができれば、その次には困っている人を少しでも手助けする事につながるのではと考えました。子どもたちがこれから防災を考えるきっかけになればと思います。(山岡 義和さん)



応募数

- ・219校・団体(小学校109、団体110)、782マップの応募がありました。(※) 昨年の応募数96校、478作品
- ・募集対象を、小学校に加え自治会や子ども会等の団体に拡大した結果、応募数は倍増しました。
- ・団体の内訳としては、ボーイスカウト・ガールスカウトなどの活動団体や、少年消防クラブ、児童館、子ども会からの応募が多数ありました。

都道府県	団体数	作品数	応募	学校・団体名	都道府県	団体数	作品数	応募	学校・団体名
埼玉	31	174		上尾市立大石南小学校PTA、川口市立元郷小学校、川越市立霞ヶ関北小学校、川越市立上戸小学校、ボーイスカウト越谷第3団、越谷市立宮本小学校、ガールスカウト埼玉第1団、さいたま市立仲本小学校、さいたま市太田窪新田子供会、草加市立青柳小学校、草加市立川柳小学校、草加市立新田小学校、草加市立稲荷小学校、草加市立小山小学校、草加市立新栄小学校、草加市立草加小学校、草加市立清門小学校、草加市立瀬崎小学校、草加市立高砂小学校、草加市立長栄小学校、草加市立新里小学校、草加市立西町小学校、草加市立花栗南小学校、草加市立氷川小学校、草加市立栄小学校、草加市立北谷小学校、草加市立八幡北小学校、草加市立八幡小学校、草加市立両新田小学校、ボーイスカウト鳩ヶ谷第1団、和光市立第四小学校	神奈川	6	9		南生田地区有志、筒井子供会、金沢区災害ボランティアネットワーク、ボーイスカウト横浜第20回カブスカウト隊、ガールスカウト神奈川県第6団、和田町タウンマネジメント協議会・地域とこどもプロジェクトチーム
千葉	18	44		我孫子市立湖北小学校、大原町立東海小学校伊能瀧登校班、岬町立太東小学校和泉登校班、市川市立大洲小学校、市川市立大野小学校、大和田小学校有志、南国分寺台みどり会、ボーイスカウト浦安第2回カブスカウト隊、ボーイスカウト鴨川第1回カブスカウト隊、ボーイスカウト君津第2回カブスカウト隊、ボーイスカウト袖ヶ浦第1回カブスカウト隊、神明町22班、館山市立北条小学校、椿森子供会、千葉県立花見川第四小学校、流山市立鶴ヶ崎小学校、ゼファー松戸子供会、茂原市立東部小学校東茂原登校班	京都	5	20		宇治市立平盛小学校、京都市右京消防署太秦こども防災土曜塾、京都市立吉祥院小学校、京都市立清水小学校、京都市立藤城小学校
静岡	15	63		ガールスカウト静岡県第104団、ガールスカウト静岡県第80団・第90団、ガールスカウト静岡県第3団、静岡市立東源台小学校、ガールスカウト静岡県第61団、沼津市立本小学校、沼津市立第二小学校、江西地区少年消防クラブ、笠井地区少年消防クラブ、浜松市立篠原小学校、庄内地区少年消防クラブ、白脇地区少年消防クラブ、積志地区少年消防クラブ、袋井市立浅羽北小学校、藤枝市立藤岡小学校	大阪	5	11		茨木市立清溪小学校、大阪市立大国小学校、高槻市立三箇牧小学校、枚方市立中宮小学校、八尾市立八尾小学校
広島	14	37		府中町少年少女消防クラブ、広島市立大町小学校、広島市立上安小学校、広島市立戸山小学校、広島市立長東西小学校、広島市立梅林小学校、広島市立安小学校、広島市立緑井小学校、広島市立八木小学校、広島市立古市小学校、広島市立安北小学校、広島市立安西小学校、仁保学区仁保剣友会、江田島市立江田島小学校	福岡	4	10		あわら市北湯小学校、三国町立三国北小学校、清水町清水西小学校、上志比村上志比小学校
愛知	13	63		甚目寺町立甚目寺小学校、一宮市立起小学校、稲沢市片原一色小学校区山屋敷子ども会、岡崎市立小豆坂小学校、高浜市立翼小学校、美浜町立布土小学校、豊田市立足助小学校、豊橋市立津田小学校、名古屋市立柳小学校、上高畑一都子子ども会、東海学区子ども会、額田町立千万町小学校、成岩三区子ども会	北海道	4	9		帯広市立柏小学校第四地区太陽子供会、遊びの達人教室 in 新得、上富良野町少年消防クラブ、千歳少年消防クラブ
宮城	11	37		石巻市立相川小学校、石巻市立湊小学校、気仙沼市立気仙沼小学校、気仙沼市立月立小学校、白石市南町自治会+南町地区小学校PTA、古川市申里申和会+中里四東・西子供会、石巻市上大二町内会+釜小学校PTA上大二支部、通町・国見親子防災連絡会1G、通町・国見親子防災連絡会2G、仙台市若林区南小泉北部地区木ノ下少年消防クラブ、仙台市立長町南小学校古代の杜子供会	高知	4	8		野市町立東小学校、高知市立大津小学校、ボーイスカウト高知第13団、宿毛市立沖の島小学校
茨城	7	59		かすみがうら市社会福祉協議会、岩瀬町社会福祉協議会、下妻市立下妻小学校、常陸太田市立佐竹小学校、伊奈町立谷井田小学校、坂東市立中川小学校、常陸大宮市立大宮西小学校	和歌山	4	5		ガールスカウト和歌山県第15団、美里町立上神野小学校、串本町立田並小学校、きのくにふれあい子どもセンター実行委員会
兵庫	7	36		尼崎市立難波小学校、ガールスカウト兵庫県第22団、神戸市立板宿小学校、神戸市立若宮小学校、浜脇校区子ども会連絡協議会、西宮市立西宮浜小学校、姫路市立東児童センター	大分	4	4		中島地区子供会、別府市境川校区連合子ども会、上人校区子ども会、別府市浜脇地区連合子ども会
東京	7	28		板橋少年サッカーブルーイーグルス、板橋区立富士見台小学校、江戸川区立西小岩小学校、小池防災探検隊、中央区立明正小学校、港区立豊岡児童館、目黒区立立五本木小学校	滋賀	3	21		大津市立瀬田小学校、大津市立真野北小学校、杉江町子ども会
沖縄	7	14		糸満市立兼城小学校、南風原町新川区新川子ども会、新島でいご子ども会、大木子供会育成会、那覇市立開南小学校、那覇市立古蔵小学校、ポプラ福祉会・那覇市古波蔵児童館	岩手	3	9		北下幅子供会、杜陵小学校区教育振興協議会、盛岡市南仙北2・3丁目町内会2丁目地区子ども会
石川	7	9		加賀市立橋立小学校、材木子ども消防クラブ、新神田校下少年連盟、大根布第3町内会子ども消防クラブ、内灘町立大根布小学校大学2丁目子ども会、能登島東部子ども消防クラブ、富光寺キッズ消防隊	岐阜	3	7		大垣市立宇留生小学校PTA、高山市立日和田小学校、岐南町大山西子供会
三重	6	11		津市立南立誠小学校、安楽島子ども会、鳥羽市立坂手小学校、一ノ井子ども会育成会、わいわい広場、伊賀南部少年消防クラブ	岡山	3	3		観音寺地区観音寺子ども会、塩坪少年消防クラブ、吹屋小学校少年消防クラブ
					愛媛	3	3		ガールスカウト愛媛県第6団、ガールスカウト愛媛県第14団、ガールスカウト愛媛県第5団
					長野	2	24		松川村立松川小学校、ボーイスカウト松本第6団
					群馬	2	12		高崎市立北小学校、ガールスカウト群馬県第76団
					新潟	2	9		上越市立明治小学校、新潟市立江南小学校
					徳島	2	8		阿波市立林小学校、海南町立浅川小学校
					秋田	2	5		秋田市立飯島小学校、ボーイスカウト秋田第33回カブスカウト隊
					宮崎	2	4		延岡市笹目子供会育成会、清武町立清武小学校医大地区子ども会
					福島	2	2		ガールスカウト福島県第34団、相馬市川原町児童センター
					島根	2	2		岐久児童クラブ、西野小学校学童クラブ
					香川	1	8		高松市立香西小学校
					山口	1	4		周南市遠石子ども会
					山形	1	2		蔵王第二子供会
					熊本	1	2		熊本市立龍田小学校
					鹿児島	1	2		まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会
					山梨	1	1		宮地子ども教室
					富山	1	1		氷見市立余川小学校
					福岡	1	1		姪浜4丁目1区子ども会
					タイ	1	1		ブーケット日本人補習授業校